**授業プランシート⑪**（社会科）　 　　　　　 　１０月１９日（金）５校時　２年４組

　単元名：特設授業Ⅴ「10.30から考える沖縄県～世界のウチナーンチュの思い～」

 （５／５） 　　　　 　　　　　　　授業者：内山　直美

|  |
| --- |
| **１ 本時のねらい** |
| (1)主体的な学び：世界のウチナーンチュの活躍を知り沖縄の可能性を探る。(2)対話的な学び：フォトランゲージを通して移民先のウチナーンチュの様子を想像する。(3)深い学び：ウチナーンチュが活躍した背景を知り，今の自分と比較させる。正対 | （評価場面・方法） (1)知識・理解：昨年度の学びをふり返る。　(2)思考・判断・表現：移民先の暮らしを想像する。　(3)学びに向かう力：ウチナーンチュの活躍を今の自　　分の生き方に生かす。 |
| ２ めあて、まとめ、振り返り |  |
|  （まとめ）　世界のウチナーンチュは、移民先で沖縄の文化を大切に受け継ぎ、その地で活躍している。その活躍の裏には１世の苦労があり、２世以降もその思いも引き継いでいると言える。 | （めあて） 「なぜ世界のウチナーンチュは沖縄を誇りに思うのか」 世界のウチナーンチュが移民を開始して100年以上になり、2世以降の人々の活躍や思いを知ることで，移民先でも沖縄を大切にする姿勢を学ぶ。 |
| （振り返り）　昨年度も「なぜ世界のウチナーンチュは沖縄を誇りに思うのか」の学習課題で、第6回世界のウ　　　　　チナーンチュを取り上げた。また、移民1世の苦労した様子から沖縄を誇りに思うことを理解した。　　　　　今回は2世以降のウチナーンチュが抱くアイデンティティや沖縄を誇りに思う気持ちを考え、自分　　　　　の生き方と対比させながら考える。 |
| **３ 本時の展開** |  |
| 　１．導入　 (1)昨年度学習した内容を確認する。 |  |  |  13:35 |
| 　　　　　　　　・世界のウチナーンチュ大会の様子　　　　　　　　・昨年度の授業の学びから | 　　・学びに向かう力　  |
| 　　　　　　　(2)課題の設定 |  |  | 　13:45 |
| 　　　　　　　　「なぜ、世界のウチナーンチュは沖縄を誇りに思うのか」　　 |  ・問いを持つ 　 |
| 　２．展開　　(3)4枚の写真を使って紙芝居を作る。　　　　　　　(4)各グループの紙芝居を発表する。　　　　　　　(5)教師が写真の説明を行う。　　　　　　　(6)VTRの視聴「海からぶたがやってきた」 |  |  | 　・思考・判断　・表現　・知識・技能　・思考・判断 |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
| 　　　　　　　　・私の気持ち　　　　　　　　・2世以降の人々が沖縄を思う心情を知る。　 | 　　・表現　　 　 |
| 　３．まとめ、ふりかえり |  |  | 　14:15 |
| 　　　　　　　(7）「なぜ、世界のウチナーンチュは、沖縄を誇りに思うのか」 | 　　・市民力育成の視点　　・アイデンティティ |
| **４ 板書レイアウト等** |
|  10/19　（金）（流れ） 学習課題　VTRﾌｫﾄﾗﾝ気持ち　VTR まとめ 振り返り | 「世界のウチナーンチュの思い」 |
|  | （学習課題）「なぜ、世界のウチナーンチュは沖縄を誇りに思うのか」 |  |  | 新聞記事世界のウチナーンチュ関連 |  | 写真① |  | 写真② |  |
|  | 写真⑤ |  |
|  |  |
|  | ・生徒の意見など |  |  | 写真③ |  | 写真④ |  |
|  |
|  |
|  |  |

【参考資料】・下嶋哲朗『海からぶたがやってきた！』（くもん出版1995年）

・『参加型学習教材レッツスタディ！世界のウチナーンチュ』（沖縄NGOセンター1997年）